

2019年5月10日

各位

大日本住友製薬株式会社

2019年度 公募型オープンイノベーション活動「PRISM」の実施に関するお知らせ

大日本住友製薬株式会社(本社:大阪市、代表取締役社長:野村 博)は、オープンイノベーション活動の一つとして、大学や研究機関、企業の皆様との協業による医薬品の研究開発を促進するために、2019年度の公募型オープンイノベーション活動「PRISM」(Partnership to Realize Innovative Seeds and Medicines)を実施しますので、お知らせします。「研究ニーズ提示型」および「若手研究者共創型」に関する応募につきましては、本日よりウェブサイト「PRISM」(<https://www.ds-pharma.co.jp/prism/>)にて受付を開始しました。

当社は、新薬の継続的創出に向けて、自社創薬に加えて、国内外からの導入や提携をより推進・強化するために、2014年12月にオープンイノベーション開発室(現:オープンイノベーション推進部)を設置し、初期臨床段階までの新薬候補物質や最先端技術に関する情報収集・評価ならび導入や提携などを推進しています。その取り組みの一環として、当社は「PRISM」を2015年度から毎年度実施しており、今回で5回目の募集となります。

2018年度より、これまで実施してきた「研究開発シーズ募集型」および「研究ニーズ提示型」プログラムの実施に加え、当社が提示する募集テーマについて複数の大学・研究機関等の若手研究者を採択し、当社の若手研究者と議論等をしながら共同研究を進める「若手研究者共創型」プログラムも実施しています。

当社は、「PRISM」を通じて、大学、研究機関および企業などの研究者の皆様との連携強化と、自社の創薬基盤の強化を図ることにより、革新的な新規化合物の継続的創出、さらにはグローバルレベルの開発パイプラインの充実に繋げ、アンメット・メディカル・ニーズに応えることを目指しています。

※詳細(募集内容、応募方法など)についてはウェブサイト「PRISM」をご覧ください。

過去の各年度の応募数と採択数についても掲載しています。

以上